

私保連しませ No.51

Contents

- 会長退任・顧問就任、
新会長就任にあたって……2
- フレッシュ先生の紹介……6
- こんな活動やってます……8
- 新役員紹介……4
- つぶやき特集……10

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



田んぼって
楽しいな♪

出雲平野には子どもたちにとっての原風景である田んぼが広がっています。

どろどろ、ぐちゅぐちゅ、べちゃべちゃの田んぼでの泥んこ遊びは最高の感覚遊びです。

合鴨を使った稲作を通じて、「いただきます」「ごちそうさま」の意味を知る。自分の命はたくさんの命を頂いて在ることを学びます。田んぼを通して将来、いつでも還って来れる心の「ふるさと」として出雲の土地を愛してくれる子どもたちが育ってくれることを願っています。

あい川保育園 園長 間賀部亨



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>



園および 園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。公益社団法人全国私立保育連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん・ こどもえんのほけん

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」「新型コロナウイルス等対応費用補償特約(2021年4月以降)」など、園経営における従来のリスクに加えて新型コロナウイルス感染症にも対応する保険をご用意しております。

やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクとレピュテーション(風評被害)リスクに関する保険となります。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

〈連絡先〉

公益社団法人全国私立保育連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室 TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育園連盟)



私保連しませ No.51

発行日／令和3年(2021)9月
発行者／会長 川上 雅文(荒茅保育園)

発行所／島根県私立保育園連盟
編集者／青木 豊美・高橋 祐子(広報部)



新役員紹介

副会長

ひろせ保育園 舟谷 法子



子どもはひとりの人間の立場でじっと視ているんです。家の中の風景を学校での風景を町の様子を。

子どもは親や先生方の幸せな表情を見たいのでふと見たあたたかな表情を一生忘れないうるのです。(岡部伊都子)

子どもたちの思いに寄り添う日々でありたいと思います。コロナ対応に追われる毎日ですが、その中でも毎日を楽しく登園してくる子どもたちの期待を裏切らないように、保育の質を落とさないようにという強い意志で保育に取り組んで参りたいと思います。

ようしくお願い致します。

副会長

あゆみ保育園 海原 泉



前期に引き続き副会長を務めさせていただきます。コロナウィルス感染症の終息はいまだ見えず、お互いに距離をとって生活する中、心ではつながりを感じながら日々の保育をより丁寧なものにして、子ども達の育ちを保障していかなければならないと感じています。会員の皆様のご協力を得ながら、皆さんの思いを届けられたらと思います。

どうぞようしくお願い致します。

副会長

おぐに保育園 山崎 央輝



今期より副会長を拝命いたしました。また調査部顧問も担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

新聞の見出しやその他のメディアからはコロナの文字を見ない日はなく、日々成長している子ども達は世間の制約を受けながら一生懸命生きています。私たち大人の役割は島根の子どもの笑顔を作ることではないかと日々感じており、明るい未来を期待できる世界をこの立場から模索します。

皆さんの力を頂きながら精一杯尽力させていただきます。ご支援ご指導の程ようしくお願いいたします。

専門部

予算対策部



部長 さとがた保育園 板木 厚典

今期、予算対策部の部長の任を仰せつかりました出雲市、さがた保育園の板木厚典と申します。

もとより浅識非才の身でありますので保育制度をしっかりと学びながら、予算対策部としての活動を進めていきたいと思っています。島根県の実情をしっかりと訴え、県内各支部の保育施設がより良い保育環境を構築できるように一生懸命頑張りますので、皆様のご協力の程、どうかようしくお願い致します。



副部長 みのり保育園 山本 久志

みのり保育園の山本久志です。保育園勤務3年目で予算対策部副部長という大役を仰せつかりました。皆さまにはご迷惑をおかけすることと思ひます。どうか先輩先生方のご指導、ようしくお願い申し上げます。

調査部



部長 敬川保育所 植田 智子

この度、調査部の部長を務めさせていただきます江津の敬川保育所の植田です。

部長という大役に身の引き締まる思いですが、顧問の山崎先生にご指導いただきながら、副部長の小松先生と一緒に精一杯、頑張りたいと思います。保育をめぐる課題は、様々ですが、島根県内の保育の現状を把握し、会員の皆様に役立つ調査が出来ればと思っております。

この度、調査部副部長を務めさせていただきますことになりました。新型コロナウイルス感染症拡大により、保育現場では大きな不安と制限がある状況が続いています。自園においても、新生活様式に沿って試行錯誤を繰り返しながら日々の保育を実践しているところです。このような状況の下でも、子どもが主役という信念を貫き、子どもを中心に考えた保育の質の確保向上を目指していききたいと思います。今回、調査部として活動する経験の機会を与えていただいたことに感謝し、自分なりに精一杯頑張りたいと思ひます。

どうぞようしくお願い致します。

青年部・事務局



部長 みどり保育園 岩倉 善光

川上会長へ引き継がれ、この度引き続き事務局と青年部長を担当させていただきますことになりました。認定こども園みどり保育園園長の岩倉善光と申します。事務局は四期目となりますが、まだまだ勉強不足で要領が

悪く、会員の皆様にご迷惑をお掛けしておりますが、精一杯努めさせていただきます。褒められて伸びるタイプです。青年部の活動と併せて温かく見守っていただきます様ようしくお願い申し上げます。

研修部



部長 出雲サンサン保育園 須谷 紀子

この度、研修部長を務めさせていただきます出雲サンサン保育園の須谷紀子です。

今年度より、処遇改善等加算IIで必須とされている、保育士等キャリアアップ研修の「保護者支援子育て支援」と「マネジメン」を実施することになりました。古村副部長とともに、リーダー的職員の育成に向けて取り組みます。

また、全国大会での提案発表も軌道にのり、昨年は第二ブロックより北海道大会、来年度は第二ブロックより大阪大会の参加が確定しました。研究活動に対する助成もありますので、今後積極的な参加により質の向上に向けてご協力をお願いしたいと思います。



副部長 原浜保育所 吉村 里恵

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、島根県保育園連盟の研修も中止することになり、皆様方には大変ご迷惑をお掛けしました。令和3年度は、感染防止対策をとりながら保育士等キャリアアップ研修「マネジメント」「保護者支援子育て支援」を行うことになりました。会員のみなさまの保育の質向上に努めてまいりますので、ようしくお願いいたします。

広報部



部長 けいしょう保育園 青木 豊美

今回2度目の広報部部長になりました。けいしょう保育園青木です。

前回は、初めてのことで原稿の依頼等行き届かないことが多々あったことと思いますが、皆様にご協力いただき、47号〜50号までを発行することができました。お忙しい中ご協力いただき本当にありがとうございます。

前回は、表紙以外は白黒の印刷でしたが、今年度51号からは皆様により楽しんで見ていただけるようオールカラーでお届けできることになりました。広報部顧問海原先生、副部長の高橋先生と共に協力し合いながら、楽しんで見ていただける広報誌にしたいと思っています。今期も会員の皆様のご理解ご協力をようしくお願いいたします。



副部長 仁摩保育園 高橋 祐子

この度、広報部副部長を務めさせていただきますことになりました。第3ブロック仁摩保育園の高橋です。部長の青木先生のサポートができる様に頑張りたいと思っています。皆様には原稿をお願いさせて頂く事となりますので、ご協力をようしくお願い致します。

私立保育園の園長としての経験は、まだ2年目で、毎日が勉強の日々です。他園の先生方とのご縁を大切に、自分なりに精一杯頑張つて、任期を務めさせて頂きたいと思ひます。

どうぞようしくお願い致します。

監事



たちばな保育園 堀江 泰誠

この度の役員改選で、引き続き監事をさせて頂く事となりました。出雲市、たちばな保育園、堀江泰誠です。昨年度の監査をいたします。コロナウィルス感染拡大という有難い組織運営は大変困難であったことがうかがわれます。

未だコロナ感染拡大の影響がある状況ではありますが、川上新会長のもとで会員皆様のご理解を得ながら、可能な事業を有効的に実施して頂けると思っています。

監事として、当会のお役に立てるよう務めさせていただきますので、ようしくお願い致します。



ちどり第2保育所 山口 記由

この度、堀江先生とともに監事を務めさせていただきます。第四ブロックからの選出となる山口記由です。

吉田前会長就任からの四年間、事務局を担当して以来の役員となります。諸先輩方に囲まれていた若手の頃とは様変わりし、監事一名も今年長者チームであります。

会員園の皆様にご理解とご支援をいただける事業を執行できるように、監事としての任務を遂行したいと思っております。ようしくお願い致します。

第3ブロック

大田市／仁摩保育園

幸田 志穂 先生

日々の保育の中で、どんな時も冷静に対応ができる幸田先生。子ども一人ひとりの行動や様子をしっかり見て、丁寧に向き合って保育する姿が印象的です。絵本の読み聞かせでは、落ち着いた温かい声のトーンで、子ども達を魅了しています。そんな幸田先生が、子ども達も大好きです。

また、周りを見ながら「次、〇〇しましょうか？」など積極的に気付いて声を掛けてくれるので、私たちも助かっています。

(2歳児担任保育士 反田 久美)



子ども達と、笑顔いっぱいの日々を送る事ができる様に、頑張ります！



第4ブロック

浜田市／れんげ保育園

大野 未夢 先生

元気いっぱい大野未夢先生の紹介をします。

小さい頃の「しゃきしゃき未夢ちゃん」が保育士となり、どこで保育をしたいかと思った時に、未夢先生が通ったこのれんげ保育園を選んできてもらって、私たち職員は「未夢ちゃんおかえり」と大歓迎です。

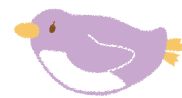
4月から2歳児ももぐみの担任をしており、子どもたちが花を見ていると、しゃがみこんで一緒に観察していたりと、こどもたちの心に寄り添った姿を微笑ましく見えています。

そんな未夢先生に見守られて子どもたちも安心して活動を行っていく中で、どんな発見をしていくのか楽しみです。

(保育士 松田 和枝)



子どもたちのかわいい笑顔を見て毎日元気をもらっています。



フレッシュ先生の紹介

第1ブロック

松江市／のぎこども園

佐田 結花 先生

保育士4年目の佐田結花先生を紹介します。今年度は2歳児クラスの担任として、他の2人の担任と共に、チームワークよく日々の保育に取り組んでいます。

佐田先生が心がけていることは「子どもと一緒に、自分も楽しむこと。」製作活動や泥んこ遊び、運動遊び等いつも全力で取り組み、子どもたちと一緒に楽しんでいます。

まだまだ先生に甘えたり、何をしても「いやだいやだ。」と泣いたりすることも多い2歳児さん。どんな時でも子どもの目線に合わせて一生懸命に応えてくれる、そんな佐田先生のごことがみんな大好きです。

わからないことは先輩に質問しながら自分の知識として蓄え、日々の保育の向上にも励んでいます。子どもの育ちの土台を作る保育の仕事。困難なことも多くあると思いますが、持ち前のバイタリティで乗り越えていけると確信しています。応援していますよ。

(副主幹保育教諭 杉谷 悦子)



笑顔を絶やさないように頑張ります。

第2ブロック

出雲市／荒茅保育園

鴨木 ほのか 先生

身体を動かすことが好きな鴨木保育士は、大学卒業後、今年の4月からかわいい子ども達と一緒に元気いっぱいに関わっています。近隣の田んぼや川など荒茅の自然いっぱいの環境の中で、子ども達の心や身体の成長を願って保育をすることにやりがいを感じています。畑での野菜の栽培や食育活動を志願し、畑を耕し夏野菜のお世話をしたり収穫やクッキングをしたりと、子ども達と楽しく活動をしています。

(主任保育士 藤江 めぐみ)



4月から4歳児の担任になり、子どもたちと園庭で鬼ごっこをしたり、水あそびをしたりして楽しみながら頑張っています。かわいい子どもたちに囲まれ毎日楽しく過ごしています。





毎朝のお手伝い～野菜の皮むき～

社会福祉法人 旭光福祉会 ちどり保育所 所長 煙艸 のぞみ

ちどり保育所は昭和12年に寺院での季節保育所として創立した保育所です。近くには日本遺産・外ノ浦があり、かつての浜田藩の貿易港を背景に、海の空気をたくさん吸って子どもたちは元気に育っています。

当保育所では食育活動として、10年以上前から朝のお手伝いでその日の給食で食べる野菜の皮むきをしたり、ちぎったり種取りをしています。子どもたちが登所してまず向かうところは給食室の前。その日の食材が並んでいて、給食の先生と今日の献立と食材について話をします。ある日、給食中に子どもたちから「朝、見てないものが入ってる」という疑問の声があり、野菜だけでなく乾物なども確認するようになりました。

皮むきなどはクラスごとに日替わりで行っています。2歳児は指先に全力を込めながら作業をしている姿が印象的です。給食時には、「今日、野菜をむきむきしたけー(今日、皮をむいた又はちぎったよー)」と会話の中にも出てきます。3歳以上児は難易度が少し上がり、扱う野菜も増えてきます。ブロッコリーの房やキャベツは大きさを意識しながらちぎったり、玉ねぎとの距離を保つ涙対策も考えるようになりました。

また、年長児はピーラーを使つての皮むきや後片付けも上手になってきています。3歳児以上になると、自分たちがお手伝いした野菜を探したり、献立によって切り方の違いに気づいたり、同じ野菜でも調理方法によって変化することなどに興味を持つ子どもも増えてきています。

私たちはこの毎日の活動を行うにあたり、保育士と給食担当者の連携を大切にしています。おいしく「食」べて、元気にたくましく「育」つてほしいと願いながら、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。

こんな活動やっています

子ども吉兆さん

たいしゃ保育園 園長 石川 佳照

たいしゃ保育園では、めざす子ども像の1つに「ふるさとを愛する子ども」があります。

当園のある出雲市大社町には、毎年1月3日に歳徳神の神霊が鎮座する吉兆幡(吉兆さん)が町内を巡行し、五穀豊穡や無病息災を祈願する伝統行事があります。大社町立時代に地域の方より「歳徳神」と記された高さ2m、幅50cmの吉兆幡を寄贈され、以後保存・展示をしてきました。

地域から一層の活用を望む声があり、平成27年に「子ども吉兆さん」を企画し、以後毎年恒例行事となりました。旧暦の正月に年長児の男の子が番内の衣装を身にまとい、女の子が太鼓でお囃子をたて、年中児が太鼓・年少児が吉兆幡をひきます。

馬場同志会のみなさんに来ていただき、発表会が終了した後の2ヶ月間が太鼓の練習期間です。発表会を通してみんなで1つのもの

を作り上げてきた成功体験により、最初は独特のリズムに苦戦をしますが、日がたつにつれて息があってきます。

当日はうらら館を出発し、神門通りを通って、1km先の出雲大社へ向かいます。地域の方や参拝者が沿道から声をかけてくれ、子どもたちは誇らしげであります。本殿前・神楽殿前・北島国造館神殿前で、元気よく「1月1日」を披露しました。

残念なことに今年は新型コロナウイルスのため、規模を大幅に縮小しての実施でした。来年はこの閉塞感を打ち破り、今までのような活動ができることを祈念しております。

この年代から地域の伝統行事にふれることにより、自分たちが生まれ育った郷土を愛する子どもになってもらいたいものです。



新鮮な商品に安心・安全をそえてお届けします
乳製品 無添加の菓子 他

島根中酪

島根中酪株式会社

本社
出雲市平野町302
電話(0853) 22-5300(代) FAX(0853) 25-3780

松江営業所
松江市嫁島町8-5
電話(0852) 21-5472

(有)隠岐中酪
隠岐の島町下西谷田103-18
電話(08512) 2-2008 FAX(08512) 2-2012

西部中酪牛乳販売(有)
益田市安富町1877-1
電話(0856) 25-2008 FAX(0856) 25-2334

ICT関連は私たちにお任せください！

保育料無償化に伴い煩雑となった事務作業を効率的に！

新登降園・請求システム

選べるお支払い方法

保育料無償化対応

フェリカ機能のカードスマホをタッチするだけ

打刻データから自動集計で請求書作成

保育・園児管理システム
園で役立つ機能満載！忙しい先生を応援するためのシステムです。

保育計画 施設管理
園児管理 保育経過
バスコース管理

CHAPPY
栄養計算
システム20

さらに使いやすくなりました！

食事摂取基準2020対応
すくすく2020
園独自の給与栄養目標量を算定

開発・販売



株式会社チャイルド社 コンピュータ部
広島営業所 TEL. 082-581-3170

編集後記

新役員になり、初めての「私保連しまね」の発行です。お忙しい中、執筆にご協力を頂いた先生方、本当に有難うございました。新しくオールカラーになった広報誌を会員の先生方が、読んで下さっている姿を思い浮かべると、繋がりを感じて思わずニヤリとしてしまう私です。

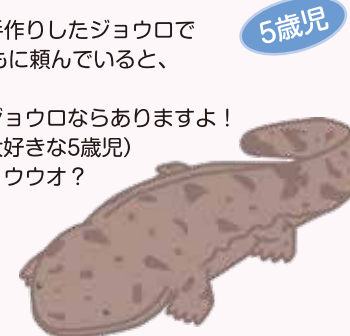
さて、この夏は、オリンピックで懸命に頑張るアスリートの姿にパワーをもらいました。まだまだ先の見えないコロナや頻発に起こる豪雨災害など、心配はつきませんが、子ども達のきらきら輝く笑顔をみんなで守っていきましょう！！

(仁摩保育園 高橋 祐子)

子どもたちのかわいい つ・ぶ・や・き

オオサンショウウオ

A保育士がペットボトルで手作りしたジョウロでプランターの水やりを子どもに頼んでいると、近くにいた保育士が・・・
B保育士：先生、ソウさんジョウロならありますよ！
通りかかったB男（生き物大好きな5歳児）
B男：えっ！オオサンショウウオ？
保育士大爆笑！！
言葉にしてみたらイントネーションが似てる！！



3歳児

豪華なままごと？

Y子（3歳児）：
ねえ、しゃっきんでままごと買ったんで！
A保育士：
えっ？借金で？
Y子：
うん、100均で。
A保育士：
借金して買うままごとってどんなのかと思った ((;^_^A)



4歳児



昨日ね、夜にカエルが歌ってたよ。（鳴いてたじゃなく、歌うという表現に感動！）

4歳児



泥んこ遊びをしていたら、「この砂はさらさらなのに、水を入れると～・・・ほら！トロトロになるんで！！」と手品のような子どもの発言にほっこりしました。

4歳児

保育士が「昨日のおさらいをするよ」と話したら、その日に家でお母さんに聞いたそうです
A子：
「先生、おさらいって言ったけど、お皿洗うん？」



4歳児



部屋の色々なところに紙を貼って絵を描いていて、ロッカーの中で上向きに描いていた子が「先生、下から見たらにじみたいにきれい」とステキな発見がありました。

2歳児



散歩でカタツムリを見つけたY君「アンモナイトだ！！」
2歳児とは思えない発見！！

1歳児

1歳児のある日



K君：「カーチー（貸して）」
Aちゃん：「どおーじょ（どーぞ）」
K君：「あーと（ありがとう）」
Aちゃん：「カーチー」
このエンドレスのやり取りがとても微笑ましいです。

鉄棒で前回りに挑戦中

保育士「こんにちは！って体を前に倒してごらん」（おじぎをするように、前かがみになる事を伝える）すると…鉄棒につかまると「こんにちは！」と、つぶやくCちゃんでした。



3歳児



3歳児

粘土でペロキャンディーを作ったA君。
A君「はい、どうぞ」
B君「……こんな大きい食べられないよ～」
二人で顔を見合わせて大笑い。
A君、どれだけ大きいキャンディー作ったの

0歳児

あんよが楽しいね♡とことごとこ…あっ！友達、見つけた！そばへ近づいたらぎゅう～とハグ友達っていいね♡



2歳児



室内で、カラーの輪っかを並べて遊んでいると…「オリンピックみたい！」と一言。毎日、オリンピックの報道が流れていましたからね。

会長退任にふせて

くもぎ保育園 園長 吉田 哲明



令和3年度もコロナの収束がみられない1年となりそうです。

このため、島根県私立保育園連盟総会も2年続けての書面決議として開催を見送りしたこと、誠に残念に存じます。令和3年度の第42回総会では、役員任期満了による改選があったわけであり、その場でみなさま方に会長職退任のご挨拶をさせていただくことが本意でありましたが、これも叶わず終いとなりました。

6月も半ば頃、事務引き継ぎを終え、古い書類などの整理をはじめました。歴代の役員先生方々のお名前が目にとまり、久しぶりに懐かしく、思い浮かびました。

ふと、広報紙に目が移りました。この広報紙の『私保連しまね』という題字は、島根私保連の中興の一人である、三保保育園長故三上威文先生の筆ともいわれています。第20号（平成11年）には、満面の笑みをされている故川上泰徳先生の会長挨拶寄稿文がありました。平成8年の第39回全国（島根）大会、平成11年に隠岐で行われた第3回全国過疎サミット、また全私保連の副会長を歴任されるなど、私保連には盡力されました。

振り返りますと、島根私保連に直接関わるようになって、平成12年から事務局を務め、平成23年には古川邦道前会長から「次はおまえやれ」と、会長を仰せつかり、通算21年間となりました。特に会長になってから、全国私立保育連盟の理事に就任するなど、一時期は多忙となりました。

島根私保連の事務局を引き受けた当時、加盟園は74か園であり、予算も十分ではなく、限られていて運営自体も大変でありました。その後、当時の古川前会長のもとで、組織編成や諸規程の整備・会費の改正等を進めました。また加盟園も増減はあるものの徐々に増え、現在に至るようになりました。

平成も終わり頃、処遇改善等加算Ⅱに関連して、島根私保連でもキャリアアップ研修が出来ないものと模索しましたが、当時は実現しませんでした。しかしその後、ちょうど、研修会のあり方を見直しに係ったこともあって、昨年より研修部を中心として検討し、令和3年度より実施に至りました。このことは、私自身もうれしく思うところです。

また、調査部の調査活動を通じて、予算対策に繋がることは出来ないものかと考えましたが、なかなか難しいところもありました。

いあつれい

島根県私立保育園連盟

会長 川上 雅文（荒茅保育園）



先日の島根県私立保育園連盟の総会（書面決議）において、会長に就任いたしました川上雅文です。吉田前会長、前々会長の古川先生が立派に活動し、牽引してこられた当連盟を浅学非才の私が舵取りしているか不安ではありますが、精一杯頑張ろうと思っておりますので、よろしく願います。

原稿を書いている今、ガラガラ真夏の日差しが突き刺さる猛暑の時です。私の園では、水あそびやプールあそびに子ども達がはしゃぎで遊んでいます。皆様の園でも、夏のあそびに子ども達は没頭していることだと思います。今年の夏も新型コロナウイルスへの感染予防対策の他、熱中症や食中毒への対応と先生方は「心労のこと」存じます。

東京を中心に新型コロナウイルス感染の第5波がやってきたかという勢いで新規感染者が増えており、ここ島根でも感染者数が0人にはならない日々です。そのような暗い憂うつな気分の折に、新聞・テレビ等の報道から、東京オリンピックでの日本選手の活躍が届いてきます。日本選手の活躍、メダルラッシュ、金メダル等の報道を耳にするたびに私自身は興奮しております。島根県からも数名の選手がオリンピックに参加されました。今回のオリンピックでは残念ながらメダリストは誕生しませんでした。それぞれの活躍に敬意を表します。特に昨夜（原稿を書いている前夜）は、浜田市出身の三浦選手の3000M障害の7位入賞の快走をTVに向かつて絶叫し、応援していました。コロナ禍のためにオリンピックの開催が疑問視された中、世界各国の選手達がしのぎを削って戦っている姿に感動を覚えます。ひたむきに練習を積み重ね、己を磨き、研ぎ澄ました肉体と精神で勝負に挑んでいる姿に感銘しています。また、勝負の後に相手に対する敬意とリスペクトを忘れない姿が垣間見られた時には、心打たれます。

「オリンピック、スポーツが世界の心を一つにする」というとおりだと思えます。

一日、当園では、オリンピックトーチを持って聖火リレーをしてオリンピッククムードを味わいました。令和3年5月、出雲市での聖火リレーに参加された保護者ご家族の方に保育園に来てもらい、トーチ、聖火ランナーのユニフォームを見せてもらいました。「なぜ聖火リレーのメンバーに選ばれたのか」「実際に走ってみてどんな気分だったのか」等々出雲大社の大鳥居前までトーチを掲げて走った体験談を話してもらい、「がんばる力」「あきらめない力」の大切さや「スポーツは楽しむのが大事なんだよ。ただ、勝つことだけが大事なわけではないんだよ」と教

今一つ、青年部のあり方については、地方組織の状況が全国の青年会議にあわせると無理があり、青年会議については苦慮しましたが、今後も課題は残るところです。

島根私保連には、五つの専門部があり、各部ごとに活動していますが、その活動が、どこかお互いに繋がったものであってほしいものです。各専門部の活動を通じ、会員園の皆様を集約しながら、変動する保育情勢を注視していかなければと思います。

全国私立保育連盟には、基本綱領が7項目あります。これを大切に、全私保連と連携しながら、今後は、今まで先人諸先輩が築き上げてこられたものを引き継ぎ、新体制のもとで、時代に即した事業が活発に、私保連が躍進することを願う次第です。

これまでに、たくさんの方々と親しく出会い、たくさんの方々に支えていただきながら、今日に至りました。いろいろな方との出会い、ともに私保連に携わってこられたことが、私には財産となりました。

諸先輩の先生や当時の役員の方々の先生をはじめ、加盟園の先生方のご理解・ご支援に感謝し、誌面からお礼申し上げます。誠にありがとうございます。

えていただきました。その後、子ども達は、トーチを持たせてもらって園内を「あゝ重たい」「ぴかぴか光ってる」「すごい」「かっこいい」等々と喜んで走ってトーチリレーをしました。子ども達の輝く姿を微笑ましく見ながら、この中から将来、オリンピックが誕生すれば嬉しいなと秘かに願っております。

さて、全国私保連は、「保育運動」「制度向上運動」「予算対策運動」を3つの柱として、これらが相互に連動しながら「制度・政策への対応」や「保育の質を高める活動」を展開しています。当島根県私保連においても、全私保連の活動趣旨に賛同し、現在の様々な課題について、それぞれの専門部が活動の主軸となり、各部が課題を捉えながら活動を展開しています。

私は、前任期中は予算対策部として、制度や予算などの改善、保育職員の資質向上につながるよう署名・陳情活動を行わせていただきました。その国への陳情等の活動の中で感じたことは、島根県において急務である少子化対策、人口減少地域での保育所の経営基盤強化等について、国の担当者はあまり危機感を持っていなかったことです。私は、島根私保連として予対部の活動として、この少子化対策に関する件について、強く要望、訴えていきたいと考えています。関係諸機関にも幅広く呼び掛けていきたいと考えています。

将来を見据えて各園が保育所（園）・こども園をどのように運営していくのか、どんなふうにしていくことがより良いのかを皆様と共に考え、活動していきたいと思えます。予算対策部・研修部・広報部・調査部・青年部の各部の先生方に「ご協力をいただき、島根私保連が今まで同様充実していければいいなと思っています。そのためには、組織強化や活性化が必要であり、加盟会員園の相互の連携を図りながら取り組みを進めることが急務であります。しかし、コロナ禍はまだまだ続きそうです。Withコロナの中、リモートワーク等々形を考えながらも、研修や会議を進めていき、会員園の積極的な参加と協力をいただきながら島根私保連の活動を進めていきたいと思いますので、皆様ご協力をお願いします。

最後にコロナ禍の中、そのことばかりに気を取られることなく、感染予防や衛生面について十分に配慮しながらも、保育の本質を見失いようにして日々の保育に励んでいきましょう。